表 1. カラフトムシクイの測定値

Table 1. Measurements of Pallas's Warbler, *Phylloscopus proregulus*

足環番号 Ring No.	性・齢 Sex, Age	自然翼長(mm) Natural Wing	尾長(mm) Tail	跗蹠(mm) Tarsus	嘴峰(mm) Exp. Culmen	全長(mm) Total Length	翼開長(mm) Wing Span	体重(g) Body Weight
010-18601	U J	51.2	41.0	15.2	7.5	95	124	6.5
010-18604	U J	48.8	41.8	18.6	9.7	100	118	6.2

〒059-12 北海道苫小牧市樽前 394-1003

394-1003 Tarumae, Tomakomai-shi, Hokkaido, 059-12

幽谷のオシドリ・バンディング Banding at the valley

室 伏 友 三 ・ 初瀬川 孝 夫 ・ 山 田 真 司
(Yuzo Murofushi・Takao Hatsusegawa・Shinji Yamada)

1987年1月から神奈川県足柄下郡箱根町でオシドリの標識調査を始めた。箱根町では芦ノ湖を中心に、早川およびその支流、またはゴルフ場の池などでもオシドリを多数観察することができる。そして、それらのうちの少数は芦ノ湖や早川周辺で繁殖をしているものと思われる。

調査地

標識調査を行っている地点は蛇骨川が早川に合流する少し手前の所で、八千代橋の下にあたる所である。そこは川幅も狭く、高さは50m以上の溪谷になっており、兩岸の斜面はかなりの急勾配である(図1)。そのために、昔からその橋は自殺の名所として有名で、現在でも毎年何人かの人が飛び込み自殺を図っている。事実、昨シーズン中にも、標識調査の数日前にまた一人飛び降りたのだった。そのために私達は、シーズンの初めには神主さんにおはらいをしてもらうのである。昼間でも目がくらむようなその谷にはミソサザイの声が響き渡り、時折キセキレイが飛んでいくだけである。

八千代橋は、仙石原や湖尻へ向かう主要道路のために冬でもかなりの交通量がある。そのためカシミ網を架設するのはどうしても夕方以降、暗くなってから始め、時には深夜に行くこともある。

川へ降りるのには右岸の壁に打ち込んである鉄筋の手ばしで頼りである。したがって、まずザイルでポールを縛り、橋上から土手まで吊り下げ、そこからはかついで川まで降ろすのである。土手はコンクリートで固められており、水面までは4~5mあり、何の手がかりもないので近くの木にザイルを縛り、懸垂下降していくのである。そうしてやっと水面にたどり着くのであるが、全て暗闇の中の作業のため、ヘッドランプだけが頼りである。土手の上には、いつ、誰が置いたのかわからない、

図1. 谷底の網場

Fig. 1. Banding Site
at the valley

表1. オシドリ の 標 識 放 鳥 数

Table 1. Numbers of Mandarin Duck banded

放 鳥 日 Date	性 別 Sex	年 齢 Age	放 鳥 数 Number	備 考 Note
1987. 1. 15	♂	Ad	2	
1. 25	♂	Ad	2	
1. 25	♀	Ad	2	
2. 15	♂	Ad	1	
2. 15	♀	Ad	1	
2. 15	U	U	1	
2. 22	♂	Ad	1	
12. 13	♂	Ad	8	
12. 13	♀	Ad	4	
12. 13	♂	Ad	1	1987. 2. 22 放鳥
12. 31	♂	Ad	1	1987. 1. 25 放鳥

御神酒と花束が一つあり、とても気味が悪い。カスミ網を撤去する時には逆のルートをとどり、ポールをかついで手ばし道を上っていくので何ともスリリングである。

捕獲状況

オシドリは日の出の少し前、辺りが白んでくる頃に早川の方から蛇骨川に飛来して来る。堰堤すれすれに飛び越えるようにして飛来するものもいれば、上空から一気にキリモミ降下をして川に突入するように飛来するものもある。そのためカスミ網の下の方の棚にかかることがほとんどであり、網を張る時にも網にかかったオシドリが溺死しないように細心の注意を払った。オシドリと一緒にコガモも少数飛来するがまだ捕獲されたことはない。

捕獲されたオシドリは鳥袋に入れて橋上へ上ってから標識をする。オシドリを実際に手に取って間

写真1. オシドリ ♂
Aix galericulata

Photo 1. Mandarin Duck

写真2. オシドリ ♀
Aix galericulata

Photo 2. Mandarin Duck

近に見た時の美しさには感動する。標識リングの他にカラーバンドやアメリカから取り寄せたノーズタグも着け、計測後放鳥する。現在までに標識されたオシドリは表1の通りである。

まとめ

表1より、リターン(Rt)も2羽捕獲されていることから、同一個体がまた同じ場所に戻ってきていることが確認された。今後もさらに詳しく観察を続け、調査方法等も一層検討、改良し、より多くのオシドリに標識を着けていくと同時に、巣箱の架設数をさらに増やし、繁殖についての調査も行っていきたい。

〒259-03 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 97

西湘鳥類標識グループ(代表・室伏友三)

97 Miyakami, Yugawara-machi, Ashigarashimo-gun,
Kanagawa 259-03